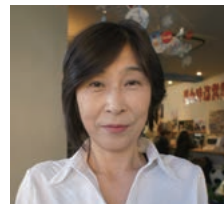


飲み放題コースの利用客増加で 飲食オーダー端末を導入



▲カラオケ事業部部长
滝下育美氏

オーダー端末を10台設置 インターフォンと併用して使用

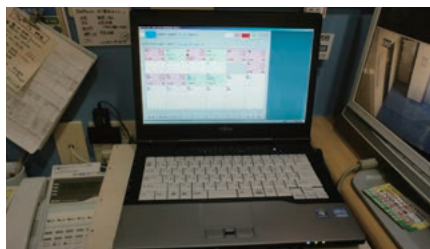
静岡県中心にカラオケボックスを7店舗展開するマイド商会(株)(本社・静岡県袋井市)は2015年7月、「カラオケ」スタジオ掛川駅前店に「スーパースターシリーズ」の飲食オーダーシステムを導入した。同社・カラオケ事業部部長の滝下育美氏は、導入経緯について次のように語る。

「掛川駅前店は当社が経営するコンビニの2、3階で営業を行ない、コンビニで買われた飲食の持込みは自由になっていますが、最近、飲み放題コースを利用されるお客さまが非常に増えてきました。ドリンクの追加オーダーでお客さまに迷惑がかからないよう、飲食オーダーシステムを採用することにしました。」

カラオケボックスでは飲み放題プランを提供し、お値打ち感を打ち出している



▲オーダー端末は受付時にフロントで手渡される



▲飲食オーダーはフロントに置かれたノートパソコンにデータが送られる

店舗は多いが、インターフォンによるオーダーの場合、混雑時に通話がなかなかつながらず、利用客に不満を与えてしまうケースがよくある。同社がオーダーシステムを採用したのは、これを事前に回避するためだ。

ルーム数18室(2階11ルーム、3階7ルーム)に対して、用意しているオーダー端末は10台。受付時に団体客などにオーダー端末を渡して利用してもらう形式をとっており、満室時にはインターホンとの併用で対応している。

オーダー情報はパソコンで受け スタッフがPOSレジに入力

飲食オーダーシステムの運用において現段階ではPOSシステムと切り離して稼働させている。

具体的には、オーダー端末から飲食の注文があると、そのデータは厨房とフロントのノートパソコンに送信され、フロントスタッフはパソコン画面を見てPOSレジにオーダーを打ち込むという手順を踏んでいる。店舗側にしてみれば、ひと手間、作業が余分にかかることになるが、これは新システムの導入にあたって慎重を期した結果だという。

「当初、飲食オーダーシステムの導入にあたってはPOSシステムと連動した形で



▲ノートパソコンを見ながらPOSレジに飲食オーダーを打ち込む



▲1階で直営のコンビニ、2、3階でカラオケボックスを営業。飲食の持込みは多いが、飲み放題コースの利用も増えている

運用を考えていました。しかし、当社にとって飲食オーダーシステムの採用ははじめてで不安もありましたし、お客さまのオーダーミスがどの程度あるのかを把握したかったので、スターランドさんに相談して当社の要望を取り入れてもらうことにしました」(同滝下部長)。

オーダーシステムの採用からすでに半年が経過、利用客もオーダー端末の操作にかなり慣れてきた。これらの状況もみながら、POSシステムとの連動も検討していきたいという。

飲食オーダーシステムの導入は運営の効率化に加え、オーダーに伴うトラブルやクレーム等を未然に防ぐうえで効果的だ。導入メリットを実感している同社では、次年度以降、他の店舗においても飲食オーダーシステムの導入を図っていく方針だ。

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、風呂施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ

(株)スターランド
〒426-0037
静岡県藤枝市青木3-14-1

☎ 0120-007-009
FAX▶ 054-644-5034
URL▶ <http://www.starland.co.jp>